

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人全体でライフステージに合わせた支援を行うことができる。法人内の事業所とも連携しながら、将来を見据えた自立支援を行っている。	ソーシャルスキルトレーニングやライフスキルトレーニングを取り入れながら、年齢や個々の状態に応じて、主体的な活動への参加を促している。	保護者へ向けた勉強会や情報提供を行うことで、将来へのイメージが持ちやすいよう取組を行っている。本人と保護者がより具体的に将来へのイメージを持って安心して過ごせるようにニーズを把握し、家庭環境に応じた個別の対応も行っていく。
2	保護者やきょうだい児と一緒に活動できる機会を多く設けており、協力的にご参加いただいている。	日々の活動について、LINEを活用し写真や動画を用いて活動の様子を保護者へ共有している。	保護者だけでなく、祖父母やきょうだい児も一緒に参加していただき、楽しみながら情報共有やご家族同士の交流の場を提供していく。
3	職員研修の充実、スキルアップの機会が多い。支援の充実を図っている。	オンライン研修を含む研修の情報収集を行い、スタッフ間で共有している。	より実践的な研修への参加を継続し、研修で得たことをアウトプットできるよう定期的にミーティングを行うことで、スタッフ間で共通認識を持った支援を行い、支援力の向上を目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流活動を通して関わる機会が多い保護者と、参加の機会が少ない保護者との差が大きい。送迎の兼ね合いで保護者とお会いする機会が少ない家庭がある。	活動の実施の方法や内容、家庭の状況などにより、参加が難しいのではないかと感じている。	保護者交流活動の幅を広げ、多くの保護者が参加しやすいような機会を提供していく。また、保護者とより密にコミュニケーションが取れるように活動の報告を行っていく。
2			
3			